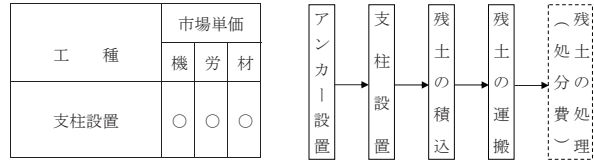


訂正前



- (注) 1. 材料の小運搬・持ち上げを含む。
 2. 支柱設置用アンカーの材料費及び設置費を含む。
 3. 支柱設置時に発生する残土の処理(処分費)は含まない。

2-2 市場単価の規格・仕様区分
 落石防止網(ロックネット)設置工の市場単価の規格・仕様区分は下表のとおりである。

表2.1 市場単価の規格・仕様区分(金網・ロープ設置)

規格・仕様	単位
亜鉛メッキ3,4種(Z-GS3,4) 線径2.6mm	m2
亜鉛メッキ3,4種(Z-GS3,4) 線径3.2mm	2m
亜鉛メッキ3,4種(Z-GS3,4) 線径4.0mm	m2
亜鉛メッキ3,4種(Z-GS3,4) 線径5.0mm	m2

- (注) 1. 表中の()内は、JIS G 3552による。
 2. 金網の表面仕様は、亜鉛メッキ3,4種(Z-GS3,4)を標準とし、亜鉛メッキカラー3,4種(C-GS3,4)、厚メッキ7種(Z-GS7)、厚メッキカラー7種(C-GS7)及び合成樹脂(ポリエチレン)被覆3,4種(E-GH3,4)を使用する場合は、補正係数を適用する。

表2.2 市場単価の規格・仕様区分(アンカー設置)

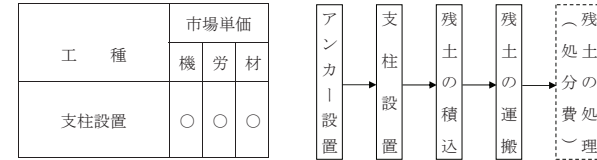
規格・仕様		単位	
岩盤用	D22mm × 長 1,000mm	箇所	
	D25mm × 長 1,000mm	箇所	
	D29mm × 長 1,000mm	箇所	
	D32mm × 長 1,000mm	箇所	
土中用	羽根付アンカー	径 25mm × 長 1,500mm 箇所	
	高耐久アンカー (プレート羽付)	アンカー有効長 1,500mm	箇所
		アンカー有効長 2,000mm	箇所
	高耐久アンカー (溝形鋼羽付)	アンカー有効長 1,500mm	箇所
アンカー有効長 2,000mm		箇所	

表2.3 市場単価の規格・仕様区分(支柱設置)

規格・仕様		単位
ポケット式支柱 (アンカー固定式)	支柱高 2.0m	箇所
	支柱高 2.5m	箇所
	支柱高 3.0m	箇所
	支柱高 3.5m	箇所
	支柱高 4.0m	箇所

(注) 支柱設置用のアンカーは岩盤用を標準とし、土中用の場合は補正係数を適用する。

訂正後



- (注) 1. 材料の小運搬・持ち上げを含む。
 2. 支柱設置用アンカーの材料費及び設置費を含む。
 3. 支柱設置時に発生する残土の処理(処分費)は含まない。

2-2 市場単価の規格・仕様区分
 落石防止網(ロックネット)設置工の市場単価の規格・仕様区分は下表のとおりである。

表2.1 市場単価の規格・仕様区分(金網・ロープ設置)

規格・仕様	単位
亜鉛メッキ3,4種(Z-GS3,4) 線径2.6mm	m2
亜鉛メッキ3,4種(Z-GS3,4) 線径3.2mm	m2
亜鉛メッキ3,4種(Z-GS3,4) 線径4.0mm	m2
亜鉛メッキ3,4種(Z-GS3,4) 線径5.0mm	m2

- (注) 1. 表中の()内は、JIS G 3552による。
 2. 金網の表面仕様は、亜鉛メッキ3,4種(Z-GS3,4)を標準とし、亜鉛メッキカラー3,4種(C-GS3,4)、厚メッキ7種(Z-GS7)、厚メッキカラー7種(C-GS7)及び合成樹脂(ポリエチレン)被覆3,4種(E-GH3,4)を使用する場合は、補正係数を適用する。

表2.2 市場単価の規格・仕様区分(アンカー設置)

規格・仕様		単位	
岩盤用	D22mm × 長 1,000mm	箇所	
	D25mm × 長 1,000mm	箇所	
	D29mm × 長 1,000mm	箇所	
	D32mm × 長 1,000mm	箇所	
土中用	羽根付アンカー	径 25mm × 長 1,500mm 箇所	
	高耐久アンカー (プレート羽付)	アンカー有効長 1,500mm	箇所
		アンカー有効長 2,000mm	箇所
	高耐久アンカー (溝形鋼羽付)	アンカー有効長 1,500mm	箇所
アンカー有効長 2,000mm		箇所	

表2.3 市場単価の規格・仕様区分(支柱設置)

規格・仕様		単位
ポケット式支柱 (アンカー固定式)	支柱高 2.0m	箇所
	支柱高 2.5m	箇所
	支柱高 3.0m	箇所
	支柱高 3.5m	箇所
	支柱高 4.0m	箇所

(注) 支柱設置用のアンカーは岩盤用を標準とし、土中用の場合は補正係数を適用する。

訂正前

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.3 加算率・補正係数の数値

区 分		記号	吹付砕工	ラス張工
加算率	施工規模	S ₀	(500m以上) 0%	(1,000m ² 以上) 0%
		S ₁	(250m以上500m未満) 10%	(500m ² 以上1,000m ² 未満) 15%
		S ₂	(100m以上250m未満) 20%	(250m ² 以上500m ² 未満) 30%
		S ₃	(100m未満) 40%	(250m ² 未満) 40%
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.15
	ラス張工で法面清掃を必要としない場合	K ₂	—	0.75

- (注) 1. 施工規模加算率 (S₁)、(S₂) 又は (S₃) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。
 2. ラス張工で法面清掃を必要としない場合の補正係数 (K₂) は、客土吹付工においてラス張工を施工する場合に適用する。補正により、法面清掃とその際発生する残土の積込・運搬費用が市場単価より除かれる。

2-4 加算額
加算額の適用基準

表2.4 加算額の適用

規格・仕様		適用基準	単位
加算額	水切モルタル・コンクリート	水切モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m ³
	表面コテ仕上げをする場合	吹付表面をコテ仕上げする場合、設計数量にしたがって加算する。	m ²
	間詰モルタル・コンクリート	間詰モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m ³

2-5 直接工事費の算出
 直接工事費 = (設計単価 [注2] × 設計数量) + 加算額総金額 (注2)
 (注1) 設計単価 = 標準の市場単価 × (2) × S₀ 又は S₁, S₂ 又は S₃ / 100 × (K₁ × K₂)
 (注2) 加算額総金額 = 加算額 × 総数量

訂正後

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.3 加算率・補正係数の数値

区 分		記号	吹付砕工	ラス張工
加算率	施工規模	S ₀	(500m以上) 0%	(1,000m ² 以上) 0%
		S ₁	(250m以上500m未満) 10%	(500m ² 以上1,000m ² 未満) 15%
		S ₂	(100m以上250m未満) 20%	(250m ² 以上500m ² 未満) 30%
		S ₃	(100m未満) 40%	(250m ² 未満) 40%
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.15
	ラス張工で法面清掃を必要としない場合	K ₂	—	0.75

- (注) 1. 施工規模加算率 (S₁)、(S₂) 又は (S₃) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。
 2. ラス張工で法面清掃を必要としない場合の補正係数 (K₂) は、客土吹付工においてラス張工を施工する場合に適用する。補正により、法面清掃とその際発生する残土の積込・運搬費用が市場単価より除かれる。

2-4 加算額
加算額の適用基準

表2.4 加算額の適用

規格・仕様		適用基準	単位
加算額	水切モルタル・コンクリート	水切モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m ³
	表面コテ仕上げをする場合	吹付表面をコテ仕上げする場合、設計数量にしたがって加算する。	m ²
	間詰モルタル・コンクリート	間詰モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m ³

2-5 直接工事費の算出
 直接工事費 = (設計単価 [注1] × 設計数量) + 加算額総金額 (注2)
 (注1) 設計単価 = 標準の市場単価 × (1) × S₀ 又は S₁, S₂ 又は S₃ / 100 × (K₁ × K₂)
 (注2) 加算額総金額 = 加算額 × 総数量